

一関文化賞表彰式典挙行

生活文化・地域文化の振興に貢献した活動を顕彰

式 辞

N P O 法人一関文化会議所 理事長 内 田 正 好



式辞を述べる内田理事長

皆様、今日は。本日は御多用中にも拘らず、令和4年度第32回「一関文化賞」の表彰式に御出席を賜り誠に有難うございます。

御来賓として一関市長佐藤善仁様を初め、たくさんの方々に御臨席頂き式典を挙行できますことを心より感謝申し上げます。

現在の世界は、ロシア・ウクライナ情勢を初めとして、残酷な事件や傷ましい事故が発生し、今後の成り行きに不透明なものが感じられ、いろいろ懸念されるところでございます。

そのような中で、菊薫る文化と芸術の秋に「一関文化賞」の表彰式典を挙行できることの感慨は一入で慶びに堪えません。

私共一関文化会議所では、創立の目的に「ふるさと創生」「文化の創造」を掲げ「潤いのある文化的な魅力あるまちづくり」を目指しながら、各種事業の展開を図っております。その中で顕彰事業としての「一関文化賞」は、文化・芸術の振興並びに活力のあるまち

づくりや人づくり等の分野で、地道にそして顕著な活動や研究を継続された方々に敬意を表し顕彰させて戴いております。

今年度の「一関文化賞」は、生活文化部門「名木笠松保存会」様、地域文化部門「舞草刀研究会」様の2団体の方々です。皆様の詳しい御活躍ぶりや輝かしい御功績につきましては、このあと担当の阿部奨励委員長から具体的に御紹介申し上げます。

本日「一関文化賞」を受賞された方々は、今後さらに保存活動や研究活動に意欲的に取り組まれ、当一関地方の歴史と文化の創造や継承発展のために益々御活躍されることを御祈念申し上げます。

結びにお願いがございます。本来であればこの式典終了後懇親会の席を設け、楽しくお祝いしたり交流を深めたりといったひとときを持ちたいところですが、コロナ禍の中、飲食を伴う場は自粛させていただきますので、皆様どうか御了承くださいますようお願い申し上げて私の式辞と致します。本日は誠におめでとうございます。



祝辞を述べる佐藤一関市長
右は永井栄一岩手県南広域振興局長

令和4年度(第32回)一関文化賞 名木笠松保存会と舞草刀研究会に

奨励委員会 委員長 阿 部 了 子

第32回となる令和4年度一関文化賞の表彰式は、11月9日、一関文化センター中ホールを会場に執り行い、当地域において文化の振興に貢献された2団体を表彰しその功績を讃えました。

式では内田理事長から受賞者に表彰状とトロフィーが手渡され、また、受賞者の皆さんからは、感謝と今後の活動の決意の言葉を頂くとともに、それぞれの活動が映像などにより発表されました。

今年度の受賞者の方々をご紹介します。

特定非営利活動法人 一関文化会議所
令和4年度(第32回) 一関文化賞表彰式



「名木笠松保存会」氏家政敏会長(左)と
「舞草刀研究会」田辺 清会長

【受賞者の紹介】

一関文化賞「生活文化部門」

名木笠松保存会

川崎町薄衣外山東部地区に自生する笠松(アカマツの1種、別名「見越しの松」)は、樹姿が典型的な笠(傘)型を呈し、江戸時代から名木と言われています。伊達藩公が当地往還の際、これを嘆賞し青葉城への移植が検討されるも取りやめたことから「見越しの松」とも称された言い伝えられてきました。

名木笠松保存会は、この由緒ある地元の名木を永久に保存することを目的に、1967(昭和42)年、外山東部自治会の全戸で構成設立され、以来半世紀以上にわたり保存、保護活動に取り組んでいます。

1976(昭和51)年、その樹形、樹勢ともに良好なうえ、大きさ等すべてにおいて本県随一のものとして、自生する樹齢600年と推定される3本(現在は2本)の老松と7本の幼松が岩手県指定天然記念物(植物)の指定を受けました。

2014(平成26)年に根本幹まわり564cmの最大木(1号木)は枯死するも、残る老松と7本の幼松の永久保存に向けて、地域住民が一体となり、年3回から4回の松くい虫防除等消毒や年3回にわたる笠松園内草刈作業及び環境整備作業を不断の取り組みとして続けています。

長年にわたる保存活動により、名木笠松の名の所以たる樹形は勿論、一関地方に松くい虫被害が常態化する中で健全な樹勢が確保されています。

また、こうした地元自治会住民が一丸となっての保存活動は、「自分たちの暮らす地域は、自分たち自らが創る」という地域づくりの振興に大きく貢献し、その功績は大なるものがあります。



1号木に感謝と別れを告げた集合記念写真

一関文化賞「地域文化部門」

舞草刀研究会

舞草刀研究会は、1991(平成3)年舞草刀について調査・研究を推進し、合わせてその保存と愛護をはかることを目的に設立されました。以来、舞草刀及びそれらに関する文献などの調査研究事業、学術研究事業、研究会、講演会、展示会に関する事業等に取り組んできています。

刀身に反りを持つ日本刀の原型は平安時代に完成しました。一関周辺で作刀を続けた舞草鍛冶は最も古い鍛冶集団の一つであり、この集団が生み出した舞草刀

は日本刀の原型とも言われ、日本刀の成立と発展を語るうえで欠かすことが出来ない刀剣です。

こうしたことから、舞草刀は1997（平成9）年開設の一関市博物館の常設テーマとして展示され、一関の歴史や風土を織りなす代表的なモノとして、広く全国に特色ある地域アイデンティティを発信しています。

本研究会は、一関市博物館の設置に向けた目的やテーマの絞り込みの検討、決定、市民の意識啓発等を目的に1993（平成5）年には市等との共催で「舞草刀展」を開催、その後は博物館の創成期から積極的運営参画により展示会の開催を続けています。

また、文献などの調査研究では、舞草鍛冶、一関藩刀工、刀剣古伝書、甲冑、舞草刀再現への挑戦など広く奥深く研究し実践し、その記録としての舞草刀研究紀要を継続発行、2022（令和4）年4月に30号記念誌を発刊しています。

さらには、広報啓発活動にも積極的に取り組み、日本刀鑑賞基礎講座等のほか、刀剣研磨等の熟練工人の減少に伴い個人が所有する刀剣の保存管理が課題とな

る中、そうした方々への情報提供、助言等の対応などを担い日本の刀剣文化の継承役を担っています。

舞草刀研究会が発足当時から長年にわたり取り組んできた活動は、一関地方の歴史調査とその解明や郷土歴史の啓発等地域文化の振興に大きく貢献し、その功績は大なるものがあります。



活動を紹介する田辺会長(右)と佐藤隆士副会長

ふるさと学習院に延べ121名が受講

事業委員会 委員長 畠山篤雄

本年度のふるさと学習院は、昨年（2021年）世界文化遺産登録から10年を迎えた平泉に関わって、中尊寺と骨寺村の関係性を最新の研究を基に理解を深め、また、奥州藤原氏の時代に作られた仏像と、その影響を強く受けたと言われる宮城県北部の仏像を現地に訪ね、地元で守り伝えられた歴史文化を学びました。

現地探訪では、同行の政次氏の解説に充実した時間を過ごすことが出来、地域で育まれた歴史の深さを実感しました。



横山不動尊（登米市津山町大徳寺）を見学

ふるさと学習院

回	開催日	内 容	講 師	受講者数
1	7月6日	市内現地研修「現地で体感～骨寺村と中尊寺～」 見学先：平泉世界遺産ガイダンスセンター、中尊寺、骨寺村莊園遺跡		29人
2	7月21日	講座「骨寺村と中尊寺～特異な関係性～」	一関市博物館 学芸員 鈴木雄己氏	27人
3	9月27日	講座「十二世紀の仏さまたち ～奥州藤原氏の時代～」	東北歴史博物館 上席主任研究員兼学芸班長 政次浩氏	30人
4	10月13日	現地探訪「平泉周縁の仏さまを訪ねて」 重要文化財 木造千手観音坐像（大崎市田尻）、同 木造不動明王坐像（登米市津山町）	東北歴史博物館 政次浩氏同行	35人

科学への好奇心を刺激！ 3年ぶりの東大生出前科学授業

子ども委員会 委員長 佐 藤 健 三

市内中学校生徒を対象にした「東大生出前科学授業」が3年ぶりに実施できました。8月25日に一関中、26日に大東中を訪れ、相転移、発電、建築、タンパク質の4つのブース実験の授業を行いました。

生徒達は科学の不思議さや楽しさに触れ、「温度が変化することで、原子が動く速さが変わることを初めて知りました。」「色々な発電方法を近くで見れてすごく楽しかった。」などの他、東大生との交流で「しっかり勉強しておけば自分のやりたいことのわくも広がるんだ…。」と感じた生徒もあり、主催者として嬉しい限りです。



東大生メンバー8名



発電(エネルギー)



タンパク質



建築

研修・視察事業

「岩手の先人を学ぶ」 ～岩手県150年の機会に～

総務委員会 委員長 安 東 正 利

戊辰戦争、明治維新で負け組になった地の出身でありながら、政治家、軍人、学者など近代日本国家建設に多くの功があった岩手の先人を盛岡市先人記念館、後藤新平記念館、斎藤實記念館を訪ね理解を深めました。

コロナ感染症対策として従来の半分の定員で募集し、32人の参加で3年ぶりに実施することができました。



9月1日 盛岡市先人記念館にて

春休み親と子のコンサート

音楽の絵本

0歳から
入場OK

本格的なクラシックから童謡やオリジナル曲まで、動物たちが奏でる多彩な音楽の世界をお楽しみ下さい。



►令和5年3月25日(土) 開演 午後2時

►一関文化センター 大ホール

►全席指定

►大人 1,200円 (当日1,500円)
子ども(3歳から中学生) 600円 (当日 700円)

►3歳未満は保護者1名につき1名まで膝上での鑑賞無料(着席鑑賞は有料)

►チケット: 文化センターまたはインターネットで